

日本人のおばあさん

エリデネオコ ゴムボ

私にはとても優しくて親切な日本人のおばあさんがいます。高校生の時日本語の先生が日本語で書いてある子供のための絵本を訳して子供たちが読めるようにするという提案が来ました。先生の説明によると日本からモソゴルのある孤児院や幼稚園に長い間色々援助をしている親切なおばあさんが本を送ってくれるので、その本を訳して子供たちに届けるのだという事でした。ちょっとだけでも子供たちの助けになると思ったのでうれしくて日本語の勉強にもなるから訳すようになりました。

本の絵からデザインやストーリーまで面白くて訳すのがとても楽しかったです。本を訳し終わったらまとめて先生におたしていただきました。

その間ずっとそんな優しくて立派なおばあさんに一度会いたいという気持ちを持ってい

ました。ある時うんよく私はおばあさんに会
うことができました。そして私はおばあさん
を今まで本を送っていた孤児院へ連れて行き
ました。本棚に私の訳した本が並べてあって、
子供たちから「本をよく読んでいるよ。あり
がとう。」と言われてとてもうれしかったです。
おばあさんのおかげで人間がお互いに助け合
うことができるとなによりうれしいことなのに分か
りました。
おばあさんに会って私はあることに気づき
ました。実はそれはおばあさんとの初めての
出会いではなかったのです。小学生のころ友
達と偶然先生に会った時先生と一緒にいた人
がそのおばあさんだったのです。その時、お
ばあさんは明るい笑顔で「人が人にありがと
うと言うことが人生にはとても大事なことな
のですよ。今まで愛してくれてありがとうと
言ってお母さんにプレゼントを買ってあげて
ね。」と言ってお金をくれました。普通は大人
は「あめを買ってね。」とか、「遊びに行っ

あ、とか言ってお金をくれるのに。その時から私は「ありがとう」と言うこと、「ありがとう」と聞くことが大好きになりました。「強くなったら人を助けよう」ではなく、少しでも人のために何かをすることによって自分の心が強くなるのが分かりました。

おばあさんは私にとって初めて会った日本人だったので日本人と言えばすぐその親切なおばあさんを思い出します。ですからおばあさんは日本留学のきっかけの一人だと思います。

おばあさん、ありがとうございます。将来ぜひおばあさんのように心の強い人になってたくさんの人に手を差し伸べたいです。